

学校選択制についてのインターネットによる住吉区民意識調査

調査方法：インターネットを媒体として多数の区民にアンケートを送信し、任意で回答を返信してもらう方法

調査期間：平成 25 年 2 月 21 日～26 日

調査対象：住吉区在住の 20 歳以上の男女(回答数 496 人)

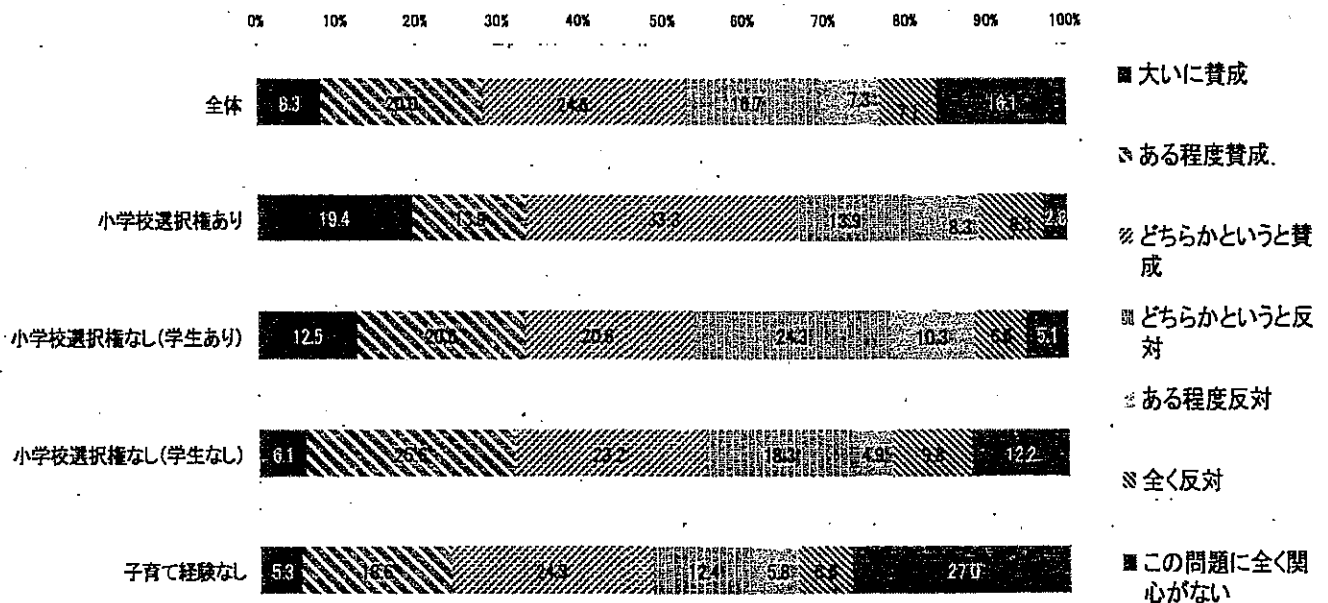
男性 272 人

20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
16	61	98	72	18	7

女性 224 人

20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
22	67	83	37	13	2

Q1. あなたは、学校選択制の「小学校」への導入に賛成ですか、反対ですか。



小学校の選択制では、賛成が 53% であるが、「この問題に全く関心がない」を除くと賛成が 63% になる。

小学校 4G の定義

小学校選択権あり：

平成 19 年 4 月 2 日以降生まれ（0 歳児～幼稚園年中組・保育所 4 才児組該当年齢）の子どもが少なくとも一人いる回答者

小学校選択権なし（学生あり）：

平成 19 年 4 月 2 日以降生まれ（0 歳児～幼稚園年中組・保育所 4 才児組該当年齢）の子どもはいないけれど、幼稚園年長組～大学生までの子どもが少なくとも一人いる回答者

小学校選択権なし（学生なし）：

子どもはいるけれど、すべての子どもが社会人になってしまっている回答者

子育て経験なし：子どもが一人もいない回答者

中学校 4G の定義

中学校選択権あり：

平成 13 年 4 月 2 日以降生まれ（0 歳児～小学五年生）の子どもが少なくとも一人いる回答者

中学校選択権なし（学生あり）：

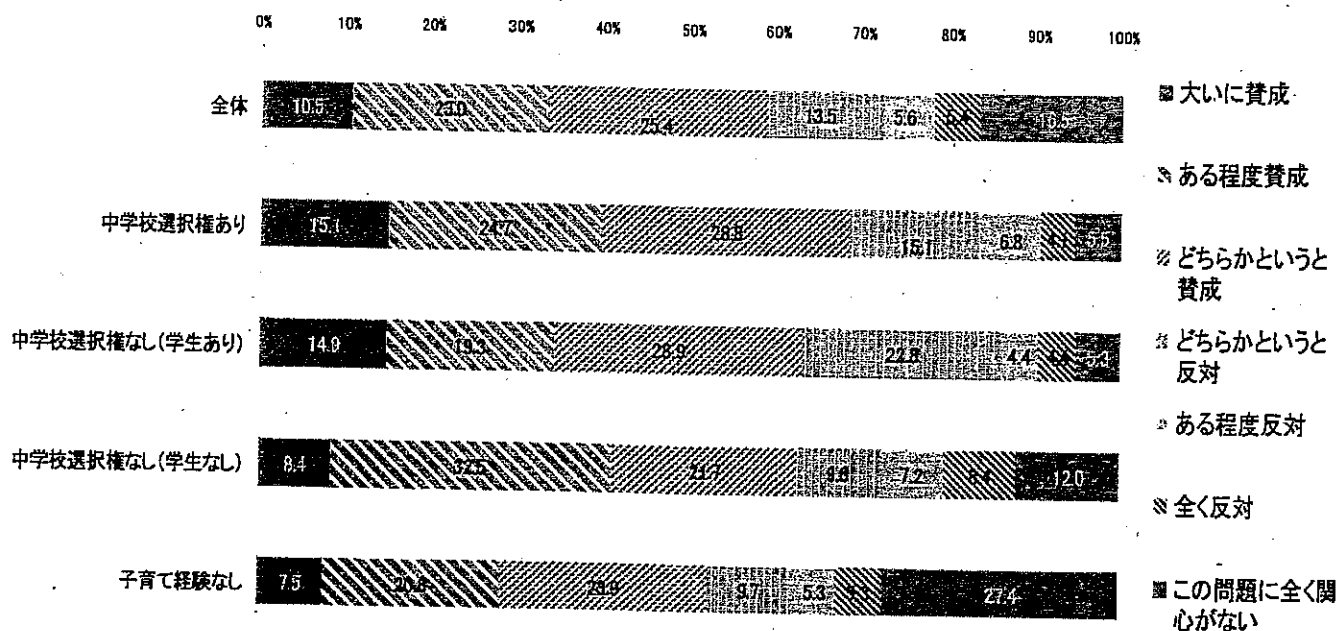
平成 13 年 4 月 2 日以降生まれ（0 歳児～小学五年生）の子どもはいないけれど、小学六年生～大学生までの子どもが少なくとも一人いる回答者

中学校選択権なし（学生なし）：

子どもはいるけれど、すべての子どもが社会人になってしまっている回答者

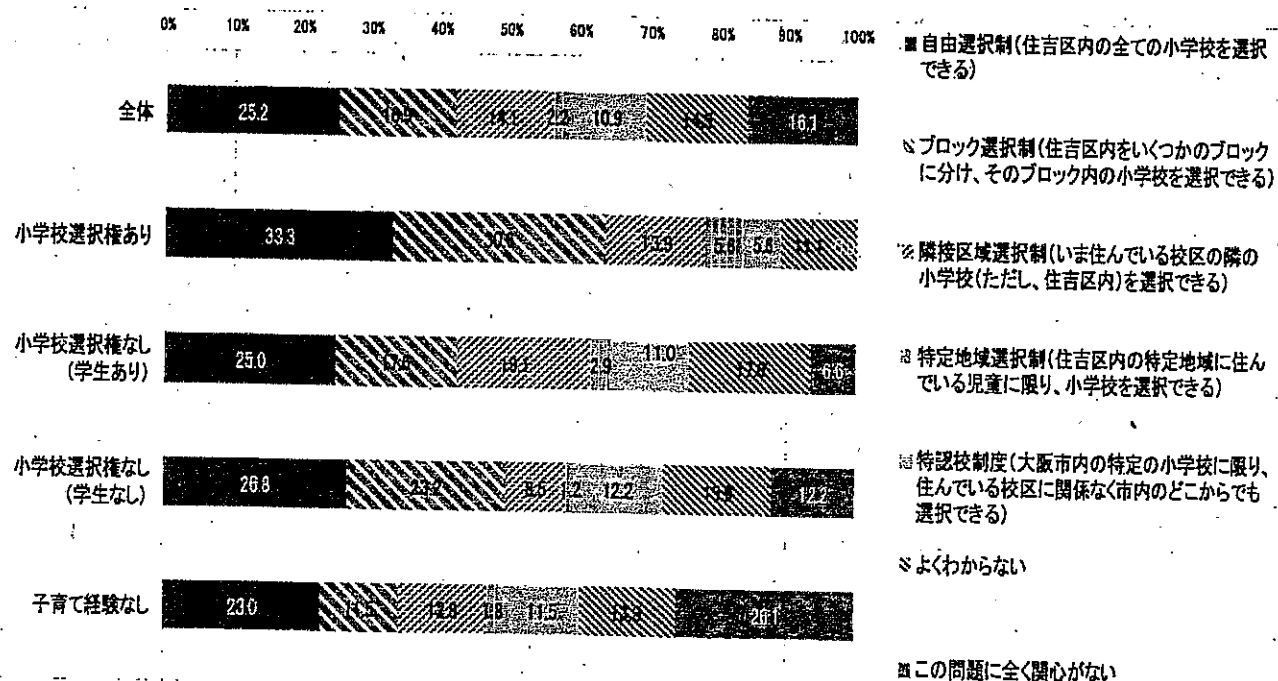
子育て経験なし：子どもが一人もいない回答者

Q2. あなたは、学校選択制の「中学校」への導入に賛成ですか、反対ですか。



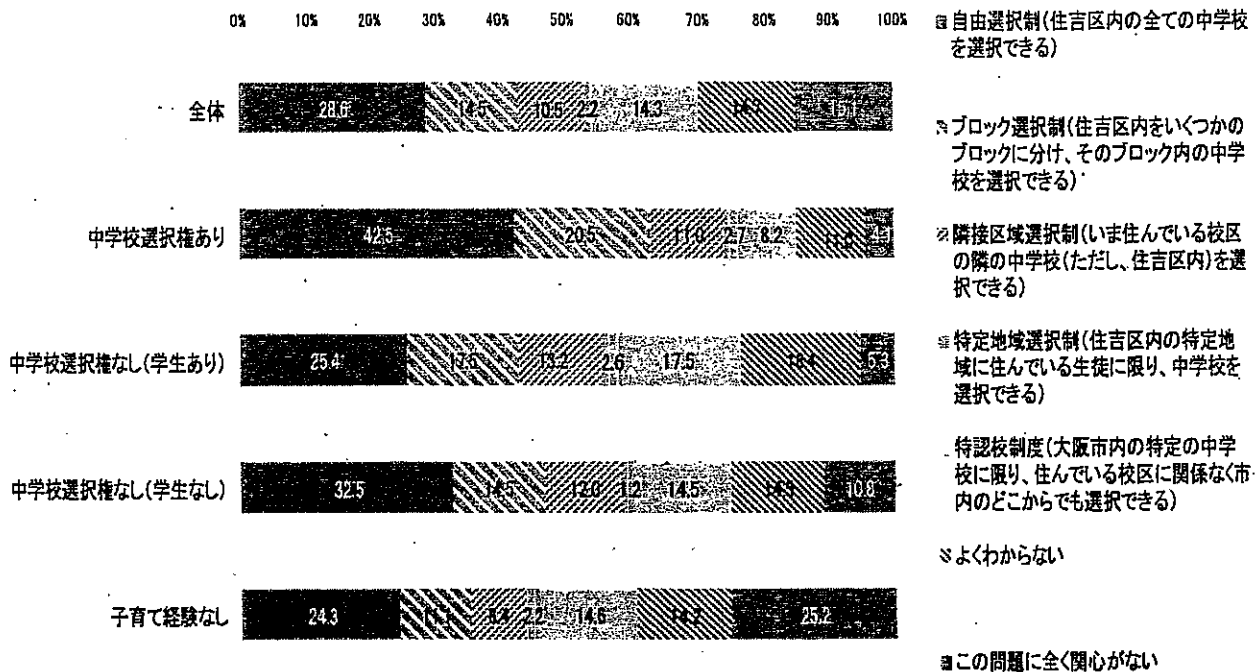
中学校の選択制では、賛成が59%であるが、「この問題に全く関心がない」を除くと賛成が70%になる。

Q3. 賛成、反対に関わらず教えてください。学校選択制の導入には次の5つの方法があります。「小学校へ」導入する場合、あなたはどの方法にすべきと思いますか。



「小学校選択権あり」では、自由選択制・ブロック選択制が高い。

Q 4. 「中学校へ」導入する場合、あなたはどの方法にすべきと思いますか。



「中学校選択権あり」では、自由選択制が圧倒的に高く、次にブロック選択制が高い

Q 5. あなたは、学校選択制のメリットはなんだと考えますか。(いくつでも)

1. 子どもや保護者が、意見を述べ、学校を選ぶことができる 200 人 (40.3%)
2. 教育目標や教育内容など、学校からの情報開示が進む 176 人 (35.5%)
3. 子どもや保護者の学校への関心が高まる 140 人 (28.2%)
4. 選択を通じて特色ある学校づくりが進む 149 人 (30.0%)
5. 学校どうしが競い合うことにより教育の質が向上する 147 人 (29.6%)
6. メリットは全くない 50 人 (10.1%)
7. その他 34 人 (6.9%)
8. この問題に全く関心がない 80 人 (16.1%)

Q 6. あなたは、学校選択制の導入にどのような課題があると考えますか。(いくつでも)

1. 校区外へ通学する(校区外から通学してくる)児童・生徒の安全確保 270 人 (54.4%)
2. 学校と地域との連携が希薄になる可能性 170 人 (34.3%)
3. 「防災活動」「地域活動」など校区ごとに実施している事業に悪影響が及ぶ可能性 102 人 (20.6%)
4. 学校間の序列化や学校間格差が生じる可能性 187 人 (37.7%)
5. 風評や表面的な評判で学校が選択される可能性 209 人 (42.1%)
6. 入学者が大幅に減少し、適正な規模が維持できない学校ができる可能性 231 人 (46.6%)
7. 入学者が大幅に増え、適正な規模が維持できない学校ができる可能性 194 人 (39.1%)
8. 学校選択制を導入したにも関わらず、学校の活性化が実現しない可能性 71 人 (14.3%)
9. 希望したにも関わらず、施設収容面(教室数等)で希望が叶わない場合がある 167 人 (33.7%)
10. 課題は全くない 11 人 (2.2%)
11. その他 9 人 (1.8%)
12. この問題に全く関心がない 74 人 (14.9%)

Q 7. 学校選択制の賛否の理由を自由に書いてください。

【小学校】

- * 賛成の主な理由は、「選択肢がある方がいい」「自由に選べる方がよい」という自らが選択権を持てることに利点を感じている理由が最も多かった。
- * 反対の主な理由は、「地域のコミュニティが崩壊する」「小学生のうちから遠くに通わせるのは安全面で心配、体力的に不安」という意見が挙げられている。

賛成度合いによる理由の違いは以下のとおりである。

- ①「大いに賛成」の理由
「校区・住んでいる場所にしばられたくないから」「いい意味で競争してほしい」の2つが多く挙げられている。
- ②「ある程度賛成」の理由
「校区の学校に不満がある」「環境の問題」の2つが多く挙げられている。他にも「地域間で交流できる」という意見も挙げられている。
- ③「どちらかと言えば賛成」の理由
「選択肢が広がれば、「いじめ」や「体罰」の問題もなくなる」という意見や、「引っ越ししても安心」、「子どもの人間関係が広がる」などという多面的な意見が挙げられている。

反対度合いによる理由の違いは以下のとおりである。

- ④「どちらかと言えば反対」の理由
「どこかの学校に偏ってしまう」「近所で遊ばせるべき」という意見が挙げられている。
- ⑤「ある程度反対」の理由
「校区・近くが一番」という意見や「事件が起きやすくなる」という意見が挙げられている。
- ⑥「全く反対」の理由
「不人気の学校に通う子どもとそれ以外の子どもに溝ができそう」「学校間で格差ができる」といった差ができることに対する意見が挙げられている。

【中学校】

- * 賛成の主な理由は、小学校と同様「選択肢がある方がいい」「自由に選べる方がよい」という自らが選択権を持てることに利点を感じている理由が最も多かった。また小学校には見られなかった「地元の中学校が評判が悪い」「〇〇中学に行きたくない」という理由での賛成意見が散見された。また小学校の選択制は反対だが、中学校の選択制は賛成という人が多くおり、「中学生くらいになると、将来を見据えて自分で選択できた方がよい」という意見を挙げている。
- * 反対の主な理由は、「地域のコミュニティが崩壊する」という意見が多かった。

賛成度合いによる理由の違いは以下のとおりである。

- ①「大いに賛成」の理由
特徴的な意見として、「学力レベルにあった学校を選べる」「やる気のでるレベルの学校に通わせたい」という意見が挙げられている。
- ②「ある程度賛成」の理由
「仲のいい友達が校区内にいるとは限らない」「仲のいい友達と一緒に通わせてあげたい」という意見が挙げられている。
- ③「どちらかと言えば賛成」の理由
「いじめ」や「体罰」の問題があっても引っ越しができる」「いじめ」や「体罰」のない学校がいい」という意見がある。

反対度合いによる理由の違いは以下のとおりである。

- ④「どちらかと言えば反対」⑤「ある程度反対」の理由
「偏りができてしまう」という意見が多く挙げられている。
- ⑥「全く反対」の理由
「子供は地域とともに育つべき」「生まれた地域を愛する気持ちが減少する」などといった地域との結びつきに対する意見が多く見られた。

インターネットによる住吉区民意識調査
～学校選択制と区政課題について～
Executive Summary
【学校選択制編】

■ 学校選択制の賛否

- (1) 単純集計では学校選択制の賛成が多い。この傾向は、「選択権・子供の有無」、「性・年代別」、「居住地域別」、「職業別」によらずほぼ同様である。
- (2) 相対的に見ると、「選択権がある層」、「若年層」、「経営・専門職など」での賛成度合いが高い。
- (3) 導入にあたっての5つの方法のうちでは、「選択権の有無」によらず、「自由選択制」が最も支持されている。

■ 賛否の理由

- (4) 学校選択制のメリットとして小学校、中学校とも、「選択権がある層」は、「競争環境」や「特色づくり」より、「学校からの情報開示」ならびに「自らの選択権」を相対的に望んでいる。
- (5) 学校選択制の課題として小学校、中学校とも、「安全確保」が最も強く認識されている。選択制への「反対」の度合いが高くなるにつれ強く認識されていくのは「地域との連携」や「風評や表面的な評判」。

■ 賛否の背景

- (6) 「教育への満足度」と「学校選択制への賛否」との間に決定的な相関関係は見られないが、「大いに賛成」としている層は相対的に最も「満足度が低い」である。
- (7) 「市政運営支持度」と「学校選択制への賛否」との間の相関関係は、比較的高いが、「市政を支持しない」層(除:「全く支持しない」)の中でも「学校選択制への賛成」は過半数いる。
- (8) 「自分自身なら選択するかしないか」と「学校選択制への賛否」との間の相関関係は非常に高い。

■ その他

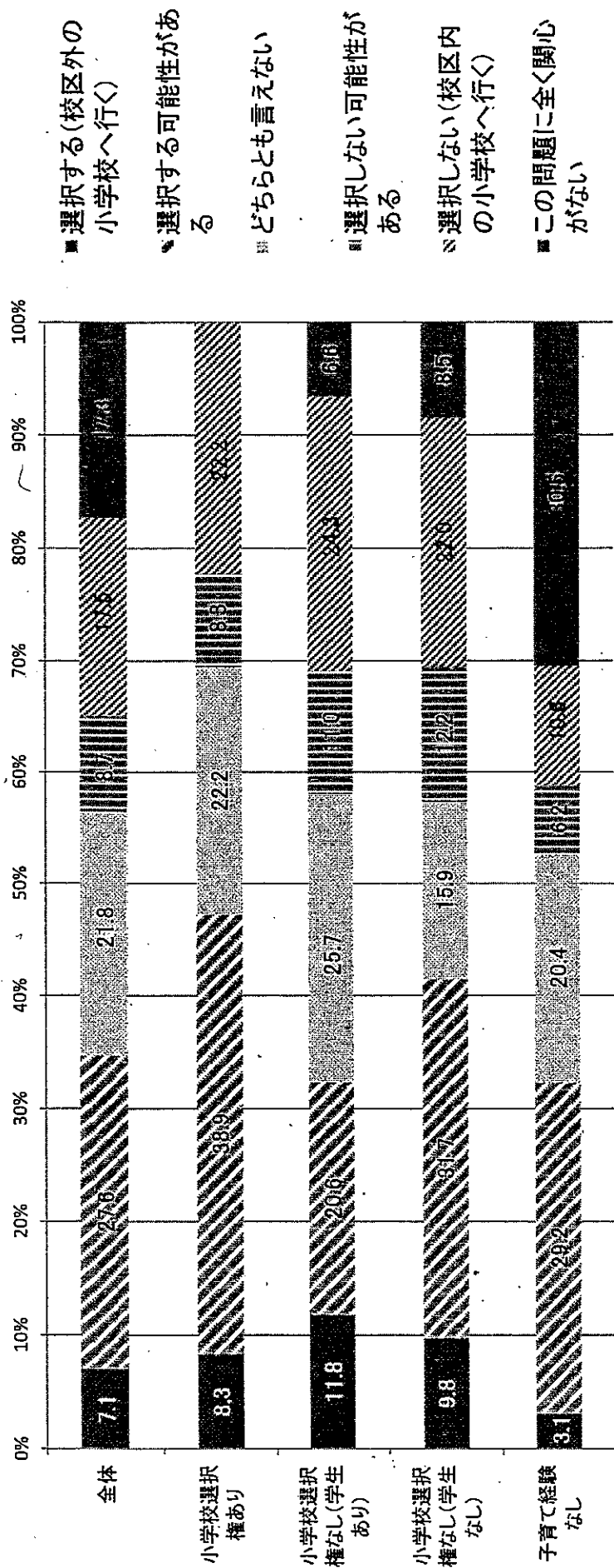
- (9) 「学校選択制への賛否」の理由に関わる自由回答は、考えかたによってはパブリックコメントで得た意見に勝るとも劣らず貴重であるので、行政としてそれらご意見のひとつひとつに真摯に耳を傾けるべき。

以上

小学校4Gごとの小学校選択への参加

大阪市では、学校選択制(市立小・中学校の入学時に希望校を言える)を平成26年4月(約1年1ヵ月後)から導入することを検討しています。子どもがいる、いないに関わらず答えてください。仮に、学校選択制が導入され、あなたにこの制度の対象となる「小学校へ入学する」子どもがいたとして、いま住んでいる校区外の小学校へその子どもが通うことを選択しますか。＜1つだけ＞

■「小学校選択権あり」のうちの47.2%が「選択する可能性がある」と回答している。



2013 (平成25年) MAY 広報 **すみよし** No.204

～自立した区民・地域の「和」で創るまち～

住吉区携帯サイトQRコード

住吉区のマスコットキャラクター「すみちゃん」

住吉区の推計人口
平成25年4月1日現在
総数 / 154,764人
男 / 72,517人
女 / 82,247人
世帯数 / 74,756世帯

住吉区の花
ゆめつばき

(編集・発行)住吉区役所企画課(広報) 〒558-8501 大阪市住吉区南住吉 3-15-55 ☎6694-9842 ☎6692-5535
区役所開庁時間 平日▶9:00～17:30 金曜▶9:00～19:00(一部業務) 第4日曜▶9:00～17:30(一部業務)

就学制度の改善 住吉区方針が決定しました

平成26年4月から区内小中学校で
学校選択制を導入します

住吉区では、住吉区の将来ビジョンとして掲げる「区民の自己決定に基づくまちづくり」を具体化するための主要な方策として、学校選択制の導入について検討を進めてきました。

平成25年3月には、区民の皆さんとの意見交換、パブリックコメントなどを踏まえ学校選択制を含む「住吉区就学制度の改善の方針」(草案)として取りまとめ、3月26日は教育委員会の承認を経て住吉区の方針として決定しました。

今回決定した方針は、従来の「就学制度の改善」の骨格のようなものであり、今後の詳細な制度設計、スケジュールについては、引き続き第1次お知らせします。

方針の概要

- 1 実施時期：平成26年4月
- 2 学校選択制
 - ・小学校、中学校とも自由選択制(ただし、小学校は自宅からの通学距離が2km以内の小学校を選択範囲とします)。
 - ・対象者は、翌年度、小中学校に入学予定の区内在住者。
 - ・住吉区内での学校選択とします。
 - ・通学区域内に居住する児童・生徒は、希望すれば必ず区域内の学校に通学できます。
- 3 指定外就学の基準
 - ・全市共通基準に基づき実施します。
 - ・「住吉区就学制度の改善の方針」は、住吉区ホームページでご覧いただけます。

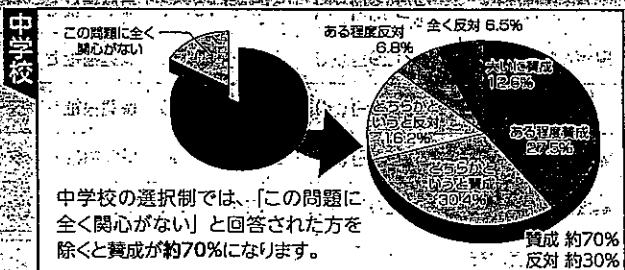
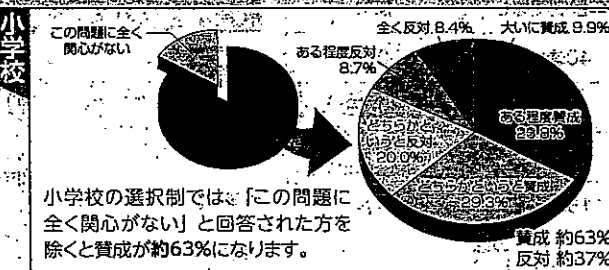
住吉区の方針を決定するにあたり、特にインターネットを活用した区民意識調査を実施しました(参考)

住吉区の方針を決定するにあたり、特にインターネットを活用した区民意識調査を実施しました。その結果(抜粋)をお知らせします。

【期間】平成25年2月21日(木)～26日(火)
【対象】住吉区在住の20歳以上の方(回答数496名)

【方法】インターネット上で閲覧しているウェブサイトにインターネットを通じて調査及び回答が可能な。

【質問】あなたは「学校選択制」の「小学校」「中学校」への導入に賛成ですか？



問合せ 教育課(教育)(区役所3階の番窓口) ☎6694-9964 ☎6692-5535



吉田康人の 区長レター

住吉区のビジョンと「学校選択制」

住吉区内の大阪市立小中学校へ平成26年4月から学校選択制を導入することが教育委員会で正式に決定されました。同委員からは「住吉区のビジョンに基づいて導入を決めてもらった」との評価の声もいただきました。

本年4月に策定した「住吉区将来ビジョ

ンH30」(先月号で紹介)では「住吉らしい歴史・文化に根ざした「和」「徳」の心を基軸とする教育を基盤に、区民や児童・生徒・保護者が自ら選択できる教育施策」をめざすとの目標を掲げました。

これからも、ビジョンや理念、夢や理想を大切に区政運営を行ってまいります。

住吉区 学校選択制 希望調査最終結果表 (平成25年11月25日現在)

*住吉区内の小中学校で、抽選となる小中学校はありません。

*通学区域の学校を希望された方は、通学区域の学校に必ず就学できます。

(小学校)

単位:人

		調査結果				* 通学区域外からの 受入可能人数		抽選の有無
		優先校		通学区域外からの 第1希望者数	通学区域外からの 第2希望者数			
		通学区域からの 希望者数	調整区域廃止 特例措置					
1	東粉浜 (特)	44		3	2	48	-	
				0	0	3	-	
2	住吉 (特)	79		6	0	40	-	
				0	0	6	-	
3	長居 (特)	101		7	1	60	-	
				0	0	0	-	
4	依羅 (特)	102		7	0	52	-	
				0	0	0	-	
5	墨江 (特)	109		3	2	52	-	
				1	0	1	-	
6	遠里小野 (特)	34		3	0	59	-	
				1	0	1	-	
7	清水丘 (特)	72		4	1	25	-	
				0	0	0	-	
8	南住吉 (特)	88	18	15	5	25	-	
				0	0	1	-	
9	大領 (特)	102		9	0	27	-	
				0	0	1	-	
10	苅田 (特)	97		15	0	30	-	
				0	0	1	-	
11	山之内 (特)	106		4	1	46	-	
				0	0	4	-	
12	苅田南 (特)	49		3	0	35	-	
				0	0	3	-	
13	苅田北 (特)	67		1	0	48	-	
				0	1	1	-	
14	南住吉大空 (特)	37		14	1	19	-	
				1	0	1	-	
合計		1,105		97	14	589		
内訳		普通学級		94	13	566		
		特別支援学級		3	1	23		

(小中一貫校)大阪市全体の状況

15	啓発 (むくのき学園)	(特)			34		24	抽選
					4		3	抽選
16	矢田 (やたなか小中一貫校)	(特)			7		31	-
					2		2	-

住吉区 学校選択制 希望調査最終結果表 (平成25年11月25日現在)

*通学区域の学校を希望された方は、通学区域の学校に必ず就学できます。

(中学校)

単位:人

		調査結果			単位:人	抽選の有無
		優先校	通学区域外からの 第1希望者数	通学区域外からの 第2希望者数	* 通学区域外からの 受入可能人数	
		通学区域からの 希望者数				
1	三稜 (特)	199	14	5	5	抽選
			0	0	0	-
2	我孫子 (特)	151	17	10	39	-
			0	0	6	-
3	住吉 (特)	173	3	0	51	-
			0	0	2	-
4	東我孫子 (特)	122	32	9	36	-
			2	0	3	-
5	大和川 (特)	147	0	0	48	-
			1	0	1	-
6	墨江丘 (特)	195	8	1	3	抽選
			1	0	0	※ 抽選
7	大領 (特)	97	5	1	63	-
			0	1	0	-
8	我孫子南 (特)	111	0	0	46	-
			0	0	0	-
合計		1,195	83	27	303	
内訳		普通学級	79	26	291	
		特別支援学級	4	1	12	

(小中一貫校)大阪市全体の状況

9	中島 (むくのき学園) (特)		31		38	-
			0		2	-
10	矢田南 (やたなか小中一貫校) (特)		3		44	-
			2		1	抽選

(特):特別支援学級

抽選の有無は通学区域外からの受入可能人数より第1希望者数が超えている場合に抽選としています。

第2希望については、第1希望確定後、抽選の有無が確定します。

* :今後、通学区域の人が転出や通学区域外の学校へ決定した場合は、抽選後に、その人数だけ増加します。

※ :第1希望の学校の「通学区域外からの受入可能人数」が「0」(ゼロ)の場合
第2希望を希望されている場合は、第2希望の学校での抽選にまわります。
第2希望を希望されていない場合は、第1希望の学校の補欠となります。

26.11.28

住吉区学校選択制希望調査 集計表

(小学校)

単位:人

小学校		優先校		調査結果			抽選の有無
		通学区域からの希望者数	旧調整区域指定校変更該当者	通学区域外からの第1希望者数	通学区域外からの第2希望者数	通学区域外からの受入可能人数	
1	東粉浜 (特)	48		3	0	38	-
				0	0	2	-
2	住吉 (特)	68		5	0	49	-
				1	0	1	-
3	長居 (特)	113		10	2	35	-
				0	0	0	-
4	依羅 (特)	91		1	0	51	-
				1	0	1	-
5	墨江 (特)	74		3	1	47	-
				0	0	0	-
6	遠里小野 (特)	29		2	0	27	-
				0	0	2	-
7	清水丘 (特)	58		2	0	29	-
				0	0	4	-
8	南住吉 (特)	78	13	27	6	26	(注1)
				0	0	0	-
9	大領 (特)	86		3	0	33	-
				0	0	1	-
10	苅田 (特)	67		23	6	40	-
				0	0	1	-
11	山之内 (特)	79		0	0	36	-
				0	0	0	-
12	苅田南 (特)	36		3	1	42	-
				0	0	0	-
13	苅田北 (特)	75		9	2	26	-
				0	0	0	-
14	大空 (特)	38		11	4	11	-
				1	0	0	(注2)
小計 (特)		940	13	102	22	490	
				3	0	12	
小中一貫校小計 (特)				1			
				0			
未提出者		111					
小学校合計		1051	13	106	22	502	

小中一貫校 (小学校)		通学区域からの希望者数	通学区域外からの第一希望者数	(うち、住吉区からの希望者数)	通学区域外からの受入可能人数	抽選の有無
西成区	新今宮	35	16	0	23	-
	いまみや小中一貫校 (特)		1	0	0	-
東住吉区	矢田	36	4	1	22	-
	やたなか小中一貫校 (特)		0	0	2	-
東淀川区	啓発	31	35	0	31	抽選
	むくのき学園 (特)		0	0	1	-

(特): 特別支援学級

(注1) 南住吉小学校については、他校希望者数を踏まえて1名の繰上げが可能なおことから、抽選は行いません。

(注2) 大空小学校の特別支援学級は、受入可能人数0名・希望者1名のため、「補欠登録」とし抽選は行いません。

住吉区学校選択制希望調査 集計表

(中学校)

単位:人

中学校		調査結果				抽選の有無
		通学区域からの希望者数	通学区域外からの第1希望者数	通学区域外からの第2希望者数	通学区域外からの受入可能人数	
1	三稜 (特)	153	11 1	3 0	24 0	- (注1)
2	我孫子 (特)	141	14 1	4 0	22 0	- (注1)
3	住吉 (特)	134	5 0	2 0	16 1	- -
4	東我孫子 (特)	136	29 0	1 1	50 2	- -
5	大和川 (特)	123	1 0	1 0	31 0	- -
6	墨江丘 (特)	178	12 1	3 0	2 0	抽選(注2) (注1)
7	大領 (特)	90	8 0	0 1	56 1	- -
8	我孫子南 (特)	110	0 0	1 0	36 0	- -
小計 (特)		1065	80 3	15 2	237 4	
小中一貫校小計 (特)			1 0			
未提出者		137				
中学校合計		1202	84	17	241	

0

小中一貫校 (中学校)		通学区域からの希望者数(通学区域外からの在校生を含む)	通学区域外からの希望者数(在校生以外)	(うち、住吉区からの希望者数)	通学区域外からの希望者数(在校生以外)に対する受入可能人数	抽選の有無
西成区	今宮 いまみや小中一貫校 (特)	48	18 0	0 0	25 1	- -
東住吉区	矢田南 やたなか小中一貫校 (特)	37	5 0	1 0	37 2	- -
東淀川区	中島 むくのき学園 (特)	44	32 1	0 0	29 2	抽選 -

(特):特別支援学級

(注1)三稜中学校、我孫子中学校、墨江丘中学校の特別支援学級は、受入可能人数0名・希望者1名のため、「補欠登録」または「第2希望校確定」とし、抽選は行いません。

(注2)抽選については、他校への希望者数を踏まえて、4名の繰上げが可能なことから6名を当選とし、残りを補欠登録とします。

● 遠里小野小学校

遠里小野地域の活性化に向けて、新たな2つの事業に取り組んでいます

● 小学校の校庭を芝生に！

大阪市では、地域の皆さんで結成した実行委員会が校庭等の芝生化をする場合に、区長マネジメントにより

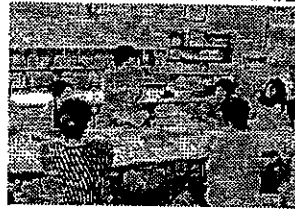


施工費用の補助金を交付しています。遠里小野小学校では現在、この補助金を活用して、芝生化が進められています。8月には実行委員会と児童・保護者、約200人による校庭の芝張りが行われ、10月の運動会は緑の芝生のもと実施される予定です。

● 学校図書室を利用しやすく！

住吉区では、子どもたちが本に親しむ生活習慣を身につけ、集中力や学力の向上をめざして、遠里小野小学校の図書室に5月から週3回図書館司書を派遣しています。

現在の主な活動として、児童の図書委員会活動や、児童に本の読み聞かせなどを行う地域の図書ボランティア「としよぼさん」の活動支援などを行っています。



問合せ 教育文化課(教育文化グループ) (区役所3階 番窓口) ☎6694-9989 ☎6692-5535

(広報すみれ9月号)

● 遠里小野地域の活性化に向けて取り組んでいます

● 小学校の校庭を芝生に！

遠里小野地域では、地域のコミュニケーションを活性化させ、地域づくりの実現をめざすため、区の補助金を活用して小学校の校庭の芝生化を行いました。

9月から体育の授業などで芝生の運動場が使われています。子どもたちが寝ころんだりして芝生の感触を楽しんだり、野鳥が飛来する姿も見られました。10月の運動会では、芝生の運動場で子どもたちが力のこもった演技を披露しました。11月には地域の主催で、グラウンドゴルフや大なわとび等、色々なコーナーが並ぶ「芝生まつり」も行われました。

同校の芝生は、地域活動協議会(芝生部会)の皆さんがいつもお世話をしてくださっています。



QRコード

● 学校図書室を利用しやすく！

住吉区役所では、子どもたちが本に親しむ習慣を身につけ、集中力や学力が向上することをめざして、小学校に図書館司書を派遣し、図書ボランティアの方の活動支援を行っています。

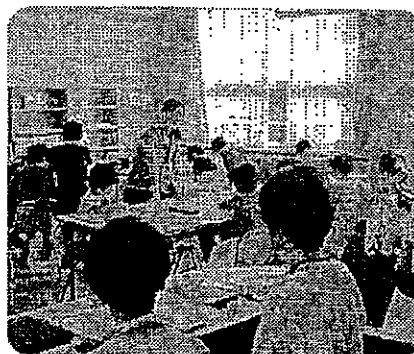
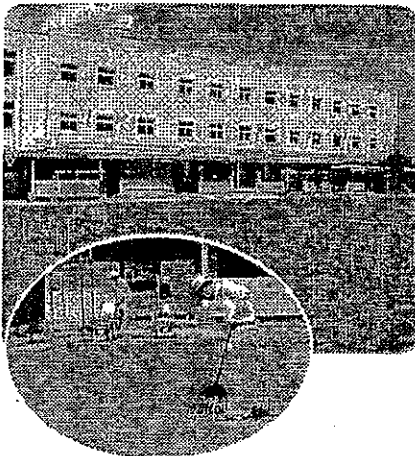
遠里小野小学校では、9月から毎週水曜日の図書室の放課後開放が始まっています。

地域のボランティアの方が見守る中、毎回約50名の子どもたちが、本を読んだり、勉強をしたりと、楽しく図書室を利用しています。

また10月からは、新たに東粉浜小学校でも、本棚の整理や本の修理方法の研修等、司書による図書ボランティアの方の活動支援を行っています。



QRコード



問合せ 教育文化課(教育文化グループ)
(区役所3階 番窓口)
☎6694-9989 ☎6692-5535

(広報すみれ12月号)

● 我孫子南中学校

中学校の学習支援事業(モデル事業)に取り組んでいます!

住吉区では、我孫子南中学校の生徒数が減少したことを受けて、教育委員会や学校と連携して、学校の活性化に向けた取り組みを行っています。



これまでの具体的な取り組みと今後の予定

1. スポーツ教室の実施
アロハスクワッド「大阪近郊フェニックス」との連携事業として実施
2. 図書館の整備と運営のサポート
図書ボランティアの育成による活用
3. 多様なコミュニケーションの活用
文化財の活用から研究員の派遣による活用
4. 特別支援教育のサポート

☎ 6694-9913 ☎ 6692-5535

(広報すみよし10月号)



我孫子南中学校で阪南高校主催の
イングリッシュキャンプを行いました
—中学校の学習支援事業(モデル事業)—

住吉区役所では、教育委員会や学校と連携して我孫子南中学校の活性化に向けた取り組みを行っています。1月10日(土)には、学校の図書館で英語教育の一環として、阪南高校主催で我孫子南中学校と連携したイングリッシュキャンプが行われ、中学生、高校生、留学生、大学生が参加しました。



同校では教育委員会事業である「中学校元気アップ事業」において、区役所から司書を派遣することで、地域の図書ボランティアの活動支援を行っています。同校の図書館は地域ボランティアの皆さんにより整備され、快適な環境で運営されています。

☎ 6694-9989 ☎ 6692-5535

(広報すみよし3月号)